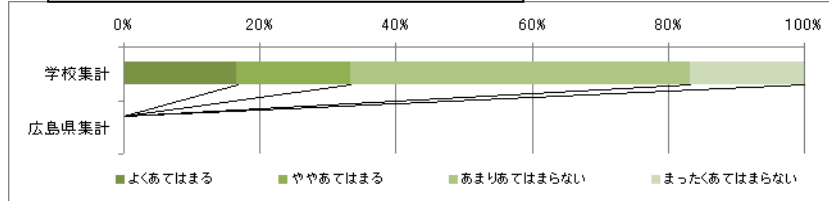
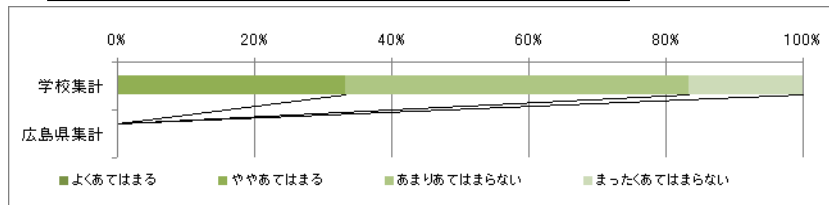


## (1) 生活・学習

学校の授業の復習をするようにしている。



自分のよさは、まわりの人から認められていると思う。



### 改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)

- ◎学校の授業の予習・復習をしている児童が少ない。
- ◎分からないことを分かるまで努力してやりとげるとか、物事を解決する方法をいくつか考えてみようとかの意欲が低い。
- ◎読んだ本の内容について友達や家族と話したり、家で本や資料などを利用して学習したりしていると回答した児童が少ない。
- ◎自己肯定感が低い。

### 今後の具体的な取組みの内容

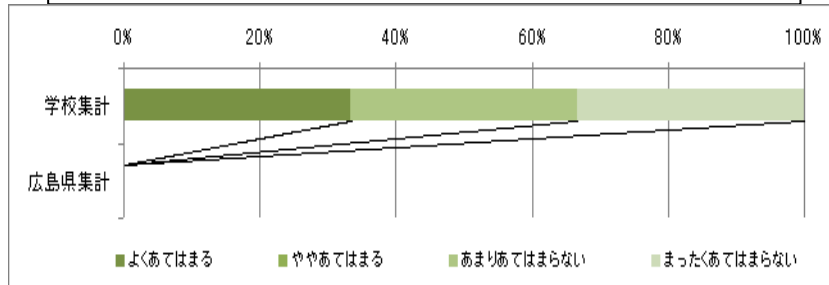
- ・宿題の点検・指導を行い、家庭学習の定着を図るとともに家庭での予習・復習を習慣化させる。そのために、自主勉強をすすめ、保護者に懇談等で学習内容について知らせ、協力を求める。
- ・読書を習慣化させるために、目標冊数やページ数を設定させ、読書記録(読んだページ数、本の題名、読んだ感想)をとらせる。また、「家庭での読書タイム」設定と家族全員での読書の取組みをすすめ、保護者に協力を求める。

### 来年度の目標値

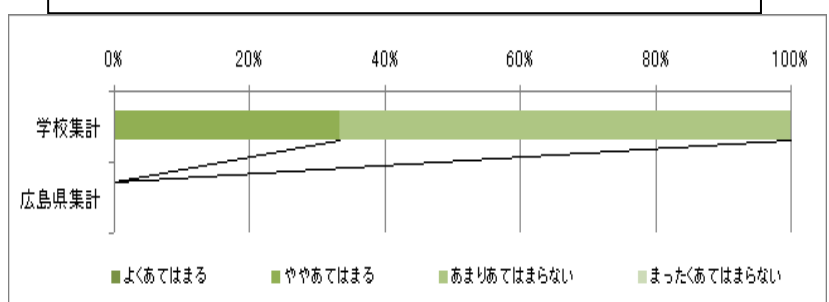
- ・家庭での読書時間で「1週間に1時間以上」の児童を100%にする。
- ・家庭学習で予習・復習をする児童を100%にする。
- ・自己肯定感を持つ児童を100%にする。

## (2) 教科

国語では、段落ごとに何が書いてあるのかを整理しながら、文章を読む。



算数では、考え方やとき方を絵や図などに表したり、まとめたりする。



### 児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)

- 国語**
- 話す・聞く
    - ◎5W1H・主語と述語・つなぎ言葉を苦手とする児童の割合が多く、文を組み立て、自分の考えをまとめて書いたり、相手の話の意図を考えながらメモをとりながら要点を聞き取ったりすることを苦手としている。
  - 言語事項
    - ◎漢字などの繰り返し学習を苦手とする児童が多い。
    - ◎分からない漢字や言葉の意味を、辞書を使って調べると回答した児童が少ない。
- 算数**
- ◎問題文の中にある情報を分析して読み取り、考えや解き方を絵や図に表すことを苦手とする児童が多い。
  - ◎計算などの繰り返し学習や、伴って変わる数量の関係を順序よく最後まで表に表してみることを嫌がる傾向がある。
  - ◎既習学習に当てはめて問題を解こうとする力が弱い。

### 授業改善の方向性や具体的な取組み

- 国語**
- ・国語だけでなく総合的な学習等の他教科や領域で、自分の考えを話したり、書かせたりする場を設定して取り組む。
  - ・考えを発表したあと、練り合いをして、感想を述べるなどの時間をもち、考え方を共有し、振り返ることが出来るようにする。
  - ・言語技術を使った指導をする時間を設け、継続して取り組む。
- 算数**
- ・授業が楽しいという児童が増えるような魅力のある授業展開を工夫する研修を行う。
  - ・授業の最初に既習事項を確認し、未習事項に気付かせ学習課題を設定することにより、既習事項を意識し、見通しを持った学習活動となるように取り組む。
  - ・ノート指導に取り組み、考えたことがわかる足跡を残しながら学習を進めていく。また、見本となる児童のノートを提示し、共有化し、広めていく。

### 来年度の目標値

- ・論理的に文章を組み立てて書く児童を100%にする。
- ・自分の考えを、図・言葉・式などに表し、説明できる児童を100%にする。

# 指導改善のための実施スケジュール

